

下諏訪町  
橋梁長寿命化修繕計画  
(第3期)



町道(1級)宮街道線 医王渡橋

令和5年(2023年) 12月

## 下諏訪町 橋梁長寿命化修繕計画 目次

1.	背景と目的 .....	1
1.1	管理施設状況 .....	1
1.2	計画の目的 .....	2
1.3	対象施設.....	2
1.4	修繕等措置の着手状況.....	3
1.5	健全性の判定区分の割合 .....	5
2.	老朽化対策における基本方針 .....	6
2.1	基本的な方針.....	6
2.2	計画期間.....	6
2.3	対策の優先順位の考え方や目標.....	6
3.	新技術等の活用方針.....	8
3.1	新技術等の活用に関する考え方.....	8
3.2	短期的な数値目標とコスト縮減目標 .....	8
3.3	点検・調査段階における活用への取り組み .....	9
3.4	設計・工事段階における活用への取り組み .....	11
4.	費用の縮減に関する具体的な方針 .....	12
4.1	費用縮減を図るための考え方や取り組み .....	12
4.2	費用の縮減目標.....	13
4.3	集約化・撤去、機能縮小に関する方針 .....	14

# 1. 背景と目的

## 1.1 管理施設状況

令和5年(2023年)12月現在、下諏訪町が管理する道路橋(橋長2.0m以上の橋)は全85橋あります。2023年に建設後50年を経過する道路橋は28橋(33%)ですが、10年後には44橋(52%)と半数以上、20年後には62橋(73%)と全体の3/4程度となるため、老朽化に伴う維持修繕費用も増加することが想定されます。そのため、現在から計画的に維持管理を実行していくことが必要とされています。

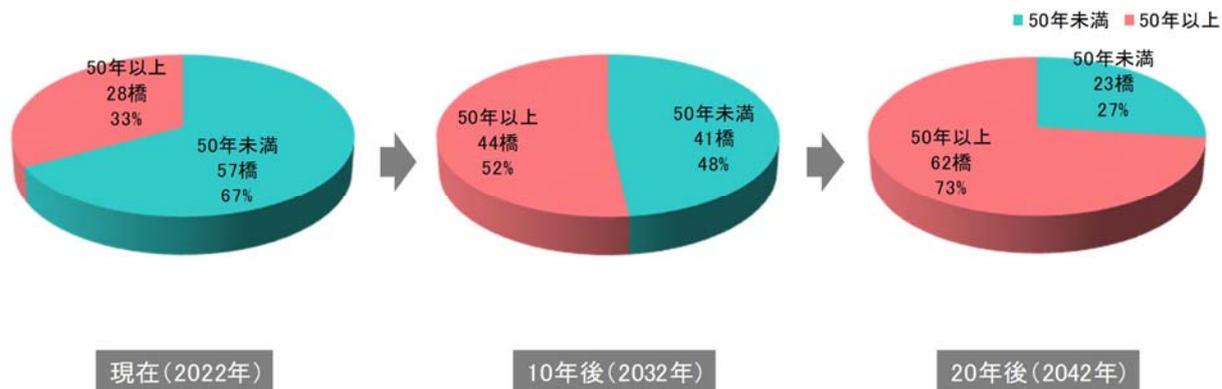


図 1.1 道路橋の経過年推移

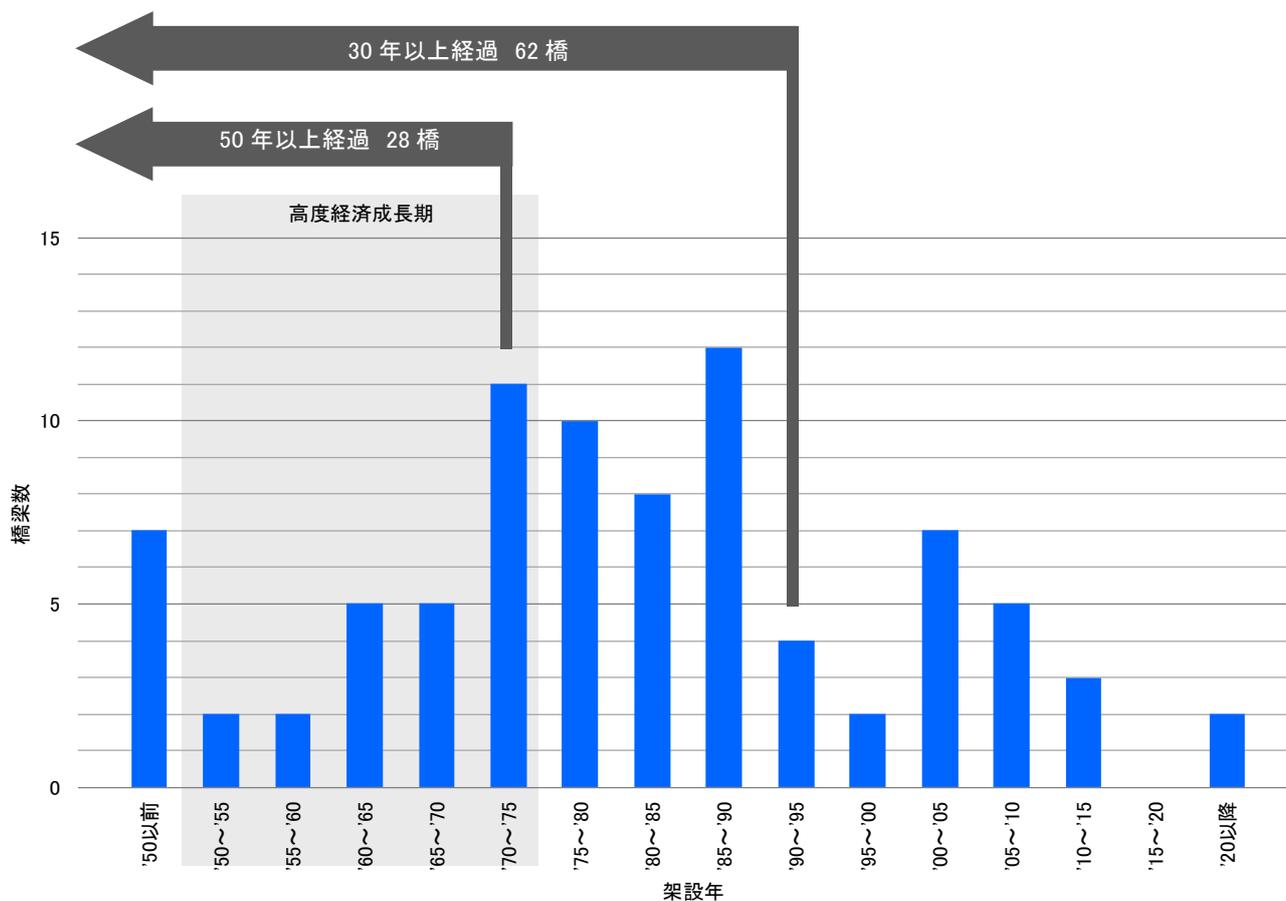
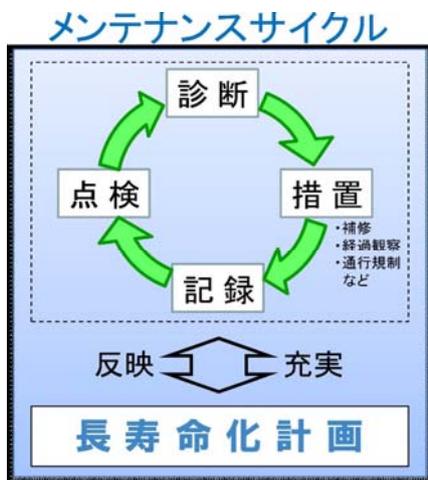


図 1.2 架設年別橋梁数

## 1.2 計画の目的

急速に進む施設老朽化に対応するため、戦略的なインフラの維持管理・更新が必要求められている現状を踏まえ、長寿命化修繕計画の策定を行い、持続可能なメンテナンスサイクルの実現を目指します。



【出典:国土交通省公表資料】

本計画では、前回「下諏訪町 橋梁長寿命化修繕計画(H31.1)」策定後の定期点検が一巡したことに伴い、最新の施設状態を用いて長寿命化修繕計画の見直しを行います。

予防的な修繕および架け替えを計画的に推進することにより、「橋梁の延命化と補修・架替え費用の縮減」、「計画的な予算確保」、「道路ネットワークの安全性及び信頼性の確保」を図ることを目的とします。

## 1.3 対象施設

計画対象施設は、全管理道路橋 85 橋とします。

表 1.1 計画対象施設

管理道路橋	85 橋
うち、長寿命化修繕計画の策定施設数	85 橋 ※1
前回策定対象施設数	86 橋
うち、今回対象外施設数	1 橋 ※2
新規追加施設数	0 橋

【備考】

※1) 側道橋を有する下記施設は、本線・側道併せて1橋扱いとする。

- ①橋梁番号12 高木橋
- ②橋梁番号64 医王渡橋
- ③橋梁番号112 鷹の橋

※2) 今回対象外施設の内訳

- ①橋梁番号34 西浜橋 :架替に伴い橋長2.0m未満となったため対象より除外。

#### 1.4 修繕等措置の着手状況

下図には、前回計画策定以降におけるメンテナンス事業の執行状況を示します。

下諏訪町では、前回点検にて早期措置段階(健全性Ⅲ)及び緊急措置段階(健全性Ⅳ)となった橋に対し、優先的かつ計画的な対策を着実に行ってきました。

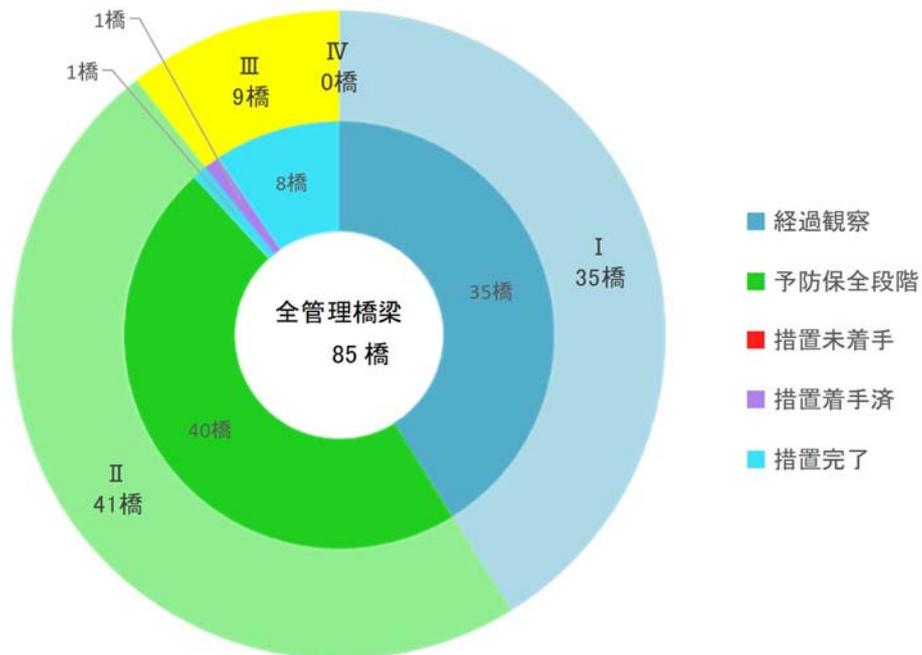


図 1.3 前回点検判定区分と措置実施状況

以降には、修繕等措置により健全性が向上した代表事例を示します。

橋梁番号 68 樋橋

前回定期点検 (2017年1月14日)	修繕等措置 (2022年3月竣工)
<p><b>【主桁】</b> 著しい腐食を伴う鉄筋露出が広範囲であるため、早期措置段階(判定区分Ⅲ)と判断。</p> 	<p>主桁の断面修復により、健全性が回復。</p> 
<p><b>【地覆】</b> 広範囲でコンクリートが欠損し、鉄筋が露出しているため、早期措置段階(判定区分Ⅲ)と判断。</p> 	<p>地覆打替えにより、健全性が回復。</p> 

橋梁番号 65 注連掛橋

前回定期点検 (2017年1月14日)	修繕等措置 (2022年3月竣工)
<p><b>【主桁】</b> 断面欠損を伴う腐食により、早期措置段階(判定区分Ⅲ)と判断。</p> 	<p>塗替え塗装工事の実施により、健全性が回復。</p> 

## 1.5 健全性の判定区分の割合

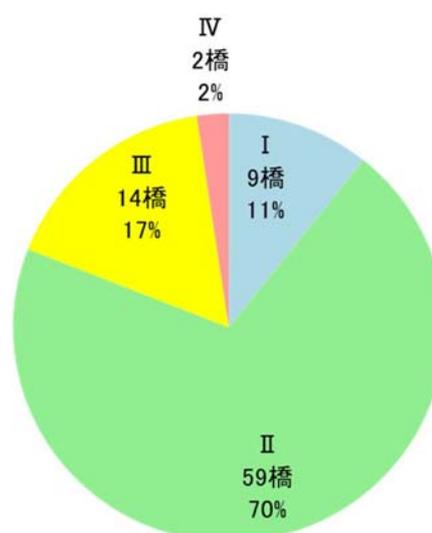
直近における定期点検結果を以下に示します。

下諏訪町では、令和3年(2021年)度～令和4年(2022年)度の2年間で、全管理橋85橋のうち84橋の定期点検を「長野県 道路橋定期点検要領(令和元年10月)」(長野県 建設部 道路管理課)に基づき実施しました。

前回点検後の修繕等措置により健全度が回復した橋梁もありますが、劣化が進行したことで新たに早期措置段階(判定区分Ⅲ)14橋、緊急措置段階(判定区分Ⅳ)2橋が確認されています。

特に健全性の低下した施設は、安心・安全な道路ネットワーク確保のため、早急に修繕等措置を行う必要があります。

I	(健全)	9橋	(11%)
II	(予防保全段階)	59橋	(70%)
III	(早期措置段階)	14橋	(17%)
IV	(緊急措置段階)	2橋	(2%)
合計		84橋	(100%)



※橋梁番号 12 高木橋は、架替工事につき未点検。

図 1.4 健全性の判定区分の割合

### 長野県 道路橋定期点検要領

令和元年10月  
長野県 建設部 道路管理課

区分	状態(定義)	措置の考え方
I 健全	道路橋の機能に支障が生じていない状態。	監視や対策を行う必要のない状態。
II 予防保全段階	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。	状況に応じて、監視や対策を行うことが望ましい状態。
III 早期措置段階	道路橋の機能に支障を生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態。	早期に監視や対策を行う必要がある状態。
IV 緊急措置段階	道路橋の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態。	緊急に対策を行う必要がある状態。

【出典：長野県 道路橋定期点検要領 令和元年10月(長野県 建設部 道路管理課) p.7】

## 2. 老朽化対策における基本方針

### 2.1 基本的な方針

#### 2.1.1 健全度の把握

「長野県 道路橋定期点検要領(令和元年10月)」(長野県 建設部 道路管理課)に準じた定期点検を、5年に1回を目安に実施し、道路橋毎に4段階(I・II・III・IV)の健全性の診断を行います。診断結果は、定期点検が一巡した段階で見直す長寿命化修繕計画に反映します。

#### 2.1.2 日常的な維持管理

日常的な道路パトロールにより異常の早期発見に努めるとともに、以下のような小規模な維持作業を随時実施します。

- ・ 橋面の清掃
- ・ 排水受け付近の堆積土砂撤去
- ・ 排水管の清掃

### 2.2 計画期間

本計画では、次回点検が完了するまでの**令和6年(2024年)～令和10年(2028年)**の5年間を計画期間とします。

以降は5年に1回を目安で行う定期点検の結果を反映し、随時計画の見直しを行います。

### 2.3 対策の優先順位の考え方や目標

#### 2.3.1 優先順位の考え方

直近の定期点検にて緊急措置段階(判定区分IV)あるいは早期措置段階(判定区分III)と診断された橋梁は、橋の機能や性能に多大な影響を及ぼしかねない変状が生じていることから、今後5年計画の中でも最優先で措置を実施します。

優先措置が完了する段階から、供用条件や橋梁規模などの社会的重要性の高い施設から優先して、管理目標に基づく予防保全型管理を行います。

### 2.3.2 管理目標の設定

予防保全型管理においては、供用条件や橋梁規模などの社会的重要性に基づくグループ毎に設定する管理水準に基づき、修繕等措置を行います。

これにより、高水準での橋の安全性確保と、維持管理の効率化及び計画的な予算確保による財政負担の軽減を図ります。

下表には、管理目標及びグルーピングの考え方を示します。

表 2.1 管理目標グループ

グループ	重要度	維持管理目標	対象
[a] (予防保全型1)	高	橋梁の長期延命化を目標に、早期措置段階(判定区分Ⅲ)とならないように補修を行う。	5 橋
[b] (予防保全型2)	中	橋梁の延命化を目標に、緊急措置段階(健全性Ⅳ)とならないよう、早期措置段階(判定区分Ⅲ)が軽度な段階で補修を行う。	53 橋
[c] (対症療发型)	低	緊急措置段階(健全性Ⅳ)とならないよう、早期措置段階(判定区分Ⅲ)のある程度の進行を許容しつつも深刻化する前段階で補修を行う。	26 橋
[d] (架け替え型)	—	補修は行わず定期点検による状態確認のみ継続し、措置を要する段階を迎えた時点で架け替える。	1 橋
			計 85 橋

表 2.2 グループ分類表

全85橋				緊急輸送路			
				指定内 3 橋	指定外 82 橋		
					DID区域内 46 橋	DID区域外 36 橋	
桁下高 0.8 m以上 84 橋	人道橋 以外 65 橋	跨道橋・跨線橋 2 橋		[a]	[a]	[a]	
		跨道橋・ 跨線橋 以外 63 橋	迂回路無 15 橋	橋長 5m以上 7 橋	[a]	[a]	[b]
				橋長 5m未満 8 橋	[a]	[b]	[b]
			迂回路有 48 橋	橋長 5m以上 18 橋	[a]	[b]	[b]
				橋長 5m未満 30 橋	[a]	[b]	[c]
			人道橋 19 橋		[a]	[c]	[c]
				0 橋	13 橋	6 橋	
桁下高 0.8 m未満 1 橋			[d]	[d]	[d]		
			0 橋	0 橋	1 橋		

### 3. 新技術等の活用方針

#### 3.1 新技術等の活用に関する考え方

維持管理においては、品質の向上や効率化、コスト縮減を図ることを目的に、積極的に新技術を活用することが推進されています。

そこで、定期点検や詳細調査においては国土交通省「点検支援技術 性能カタログ」、補修設計及び工事においては NETIS(新技術情報提供システム)に掲載される新技術の活用検討を必須とし、作業の省力化や費用の縮減に努めます。



【ウェブサイト: <https://www.mlit.go.jp/road/sisaku/inspection-support/>】



【ウェブサイト: <https://www.netis.mlit.go.jp/netis/>】

#### 3.2 短期的な数値目標とコスト縮減目標

下諏訪町では点検・調査及び工事に伴う新技術の活用により、令和 6 年(2024 年)度から令和 10 年(2028 年)度までの今後 5 年間において、維持管理事業の累計試算額 約 1.8 億円のうち、1 割に相当する 1,800 万円程度のコスト縮減を目標とします。

### 3.3 点検・調査段階における活用への取り組み

#### 3.3.1 検討フロー

点検・調査段階においては、下図フローに基づき活用検討を行います。

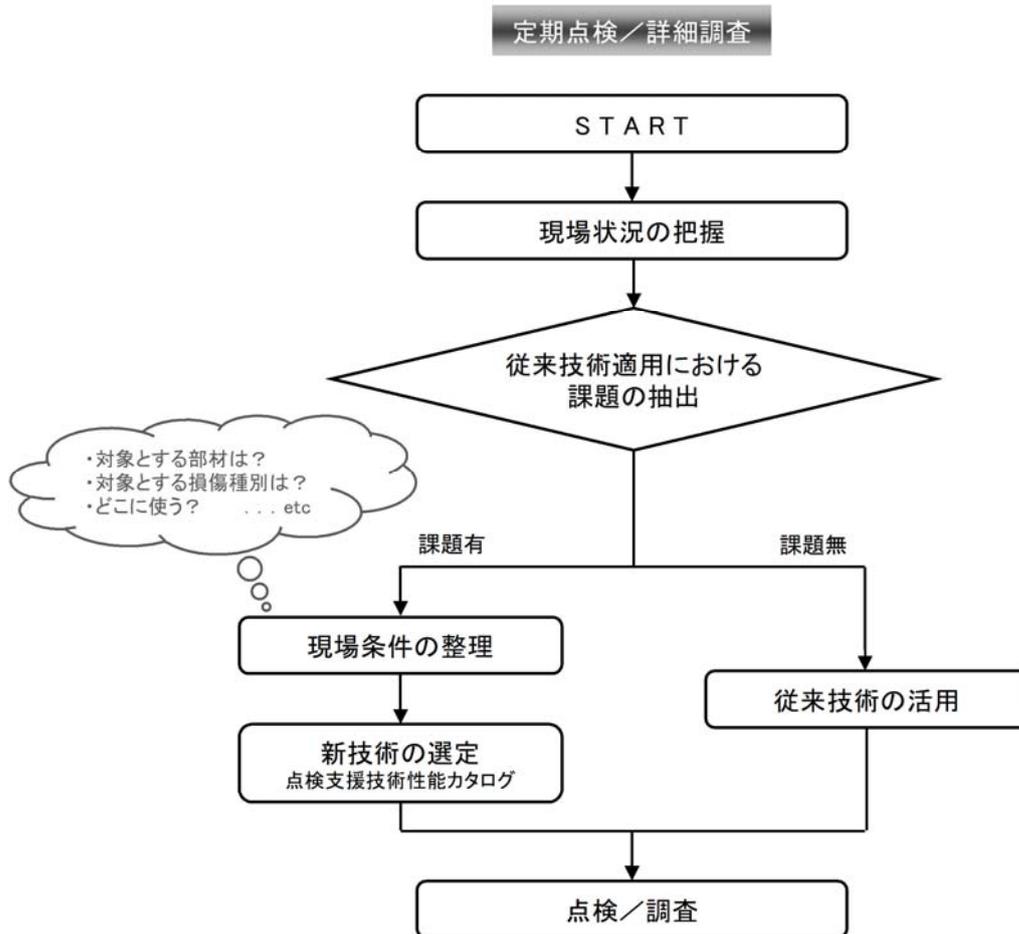


図 3.1 定期点検／詳細調査における新技术等の活用検討フロー

### 3.3.2 点検における活用事例

次に示す6橋は桁下空間が狭隘するため、点検作業員の安全性確保及び作業効率の向上に検討が必要とされていることから、新技術の活用が見込まれます。

表 3.1 新技術活用の対象施設

整理番号	橋梁番号	橋名	路線	橋長(m)	全幅員(m)	上部工種別	桁下高(m)	交差条件		
1	2	14	大沢2号橋	町道(2級)大沢川通り線	2.1	3.3	RC橋	1.0	河川	大沢川
2	23	39	宮脇橋	町道(1級)宮街道線	2.4	3.4	RC橋	0.6	河川	山の神汐
3	27	43	古川一ツ浜3号橋	町道一ツ浜8号線	4.0	6.6	RC橋	0.9	河川	古川
4	30	46	古川四王3号橋	町道(1級)田中線	3.6	13.1	RC橋	1.0	河川	古川
5	31	47	古川四王4号橋	町道渡り上り四王3号線	4.0	1.5	RC橋	1.0	河川	古川
6	71	108	鰻沢舟道1号橋	町道舟道線1号	2.0	7.3	RC橋	1.0	河川	鰻沢川

### 3.4 設計・工事段階における活用への取り組み

設計・工事段階においては、下図フローに基づき活用検討を行います。

なお、選定する新技術・新工法は橋の規模や変状程度に応じ、橋毎に適切な工法を選定します。

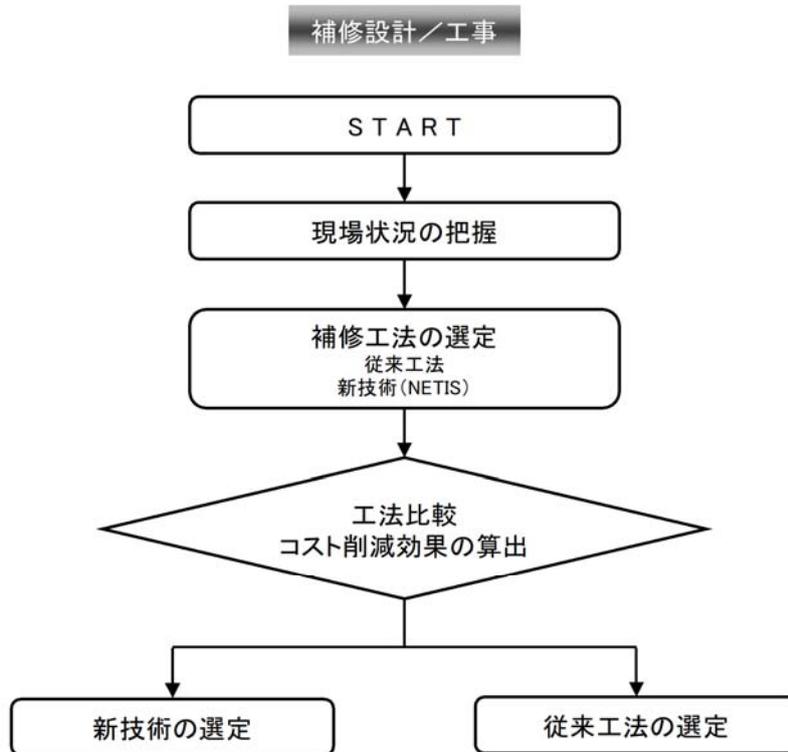


図 3.2 補修設計／工事における新技術等の活用検討フロー

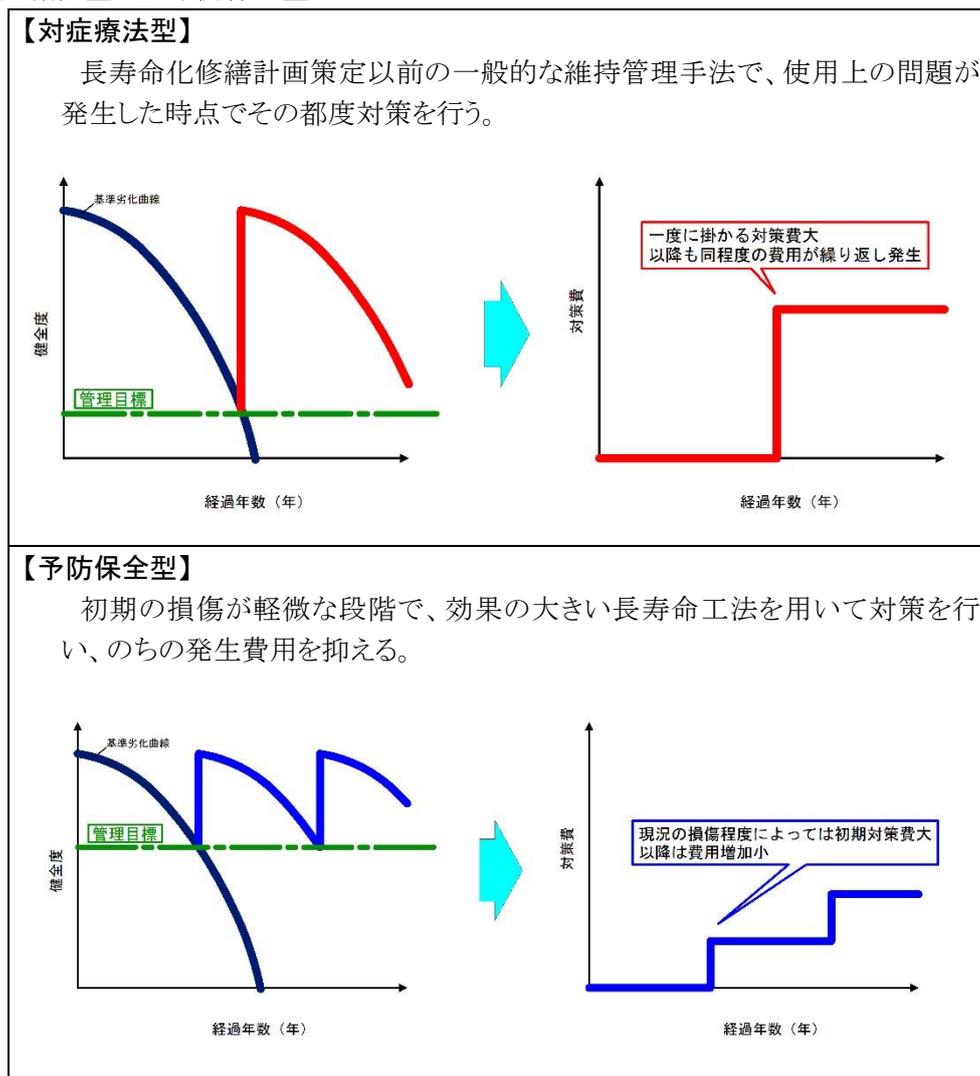
## 4. 費用の縮減に関する具体的な方針

### 4.1 費用縮減を図るための考え方や取り組み

これまでの計画では、維持管理手法をこれまでの対症療法型から予防保全型へと転換を図ることにより、橋梁メンテナンス事業のコスト縮減を目指してきました。

本計画ではグルーピングによる管理目標の設定を行い、橋毎の社会的重要性に応じた管理目標別の予防保全型維持管理を行うことにより、さらなる費用の縮減を図ります。

#### ※ 対症療法型 と 予防保全型



## 4.2 費用の縮減目標

予防保全による維持管理と対症療法による維持管理による、今後 50 年間の事業費試算を示します。  
 長寿命化修繕計画に基づく予防保全型維持管理を行うことで、今後 50 年間でおよそ 14.8 億円(約 24%)のコスト縮減効果が見込まれます。

また、予防保全によるこまめなメンテナンスにより、施設長寿命化の実現とともに、道路の安全性及び信頼性を確保できることが最大のメリットです。

対症療法型	61.5 億円
－ 予防保全型	46.7 億円
<b>縮減効果</b>	<b>14.8 億円</b>
	(約 24%)

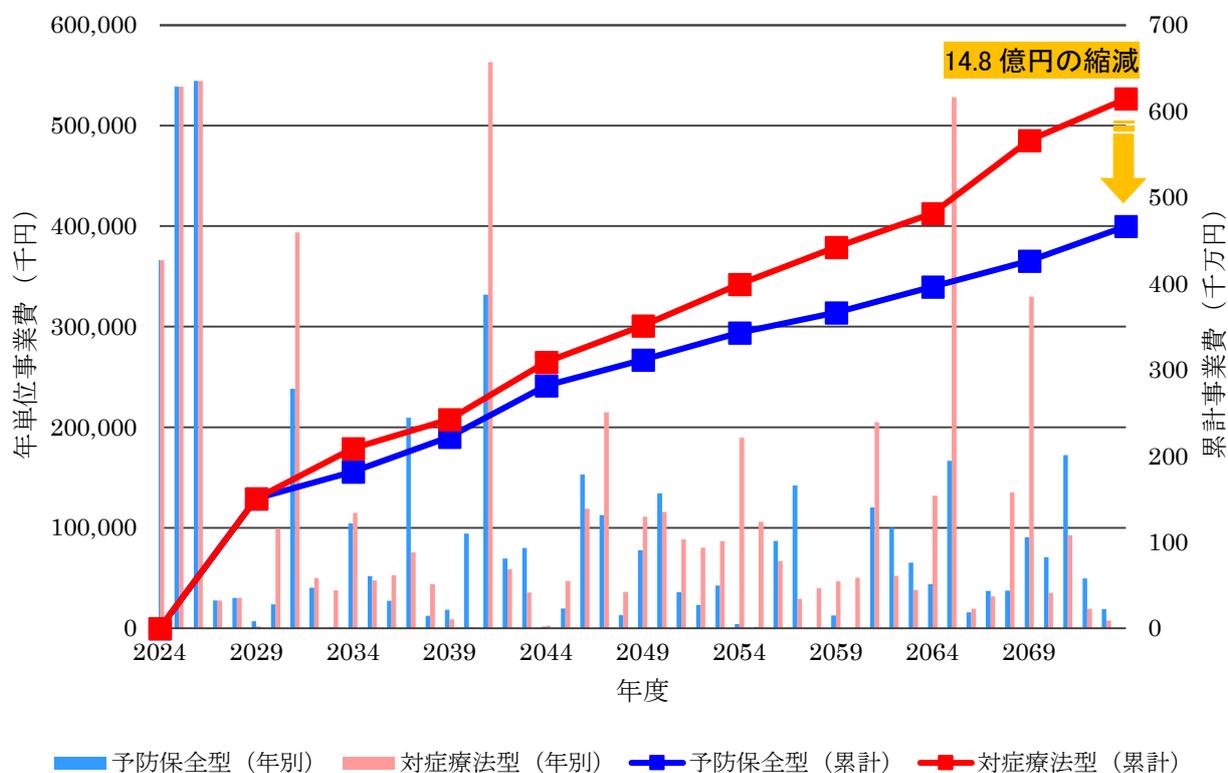


図 4.1 50 年後のコスト縮減効果

### 4.3 集約化・撤去、機能縮小に関する方針

#### 4.3.1 背景・目的

将来的に増大が見込まれる老朽化対策費用の財源確保が課題となっている中、対策の一つとして地域の実情や利用状況に応じて集約・撤去を選択肢とすることが、長期的な視点で見た際にはコスト縮減における有効な手段となりえます。

また集約・撤去への取り組みにより、人口減少に伴う担い手不足に起因した管理負担の軽減が見込まれ、最大のメリットといえる「落橋による事故の危険性」の排除による利用者の安全性確保に期待ができます。

そこで、集約化・撤去、機能縮小の対象施設の検討を行っていくものとします。

表 3-1 集約・撤去の事業内容

事業内容	概要	イメージ図	
		Before	After
単純撤去	迂回路整備を伴わない、橋梁の撤去		
撤去＋迂回路整備	撤去に加え、撤去する橋梁の迂回路となる経路に対する整備を実施		
ダウンサイジング	既設縮小化	既設の車道橋を活用し人道橋等にリニューアル	
	新設縮小化	既設の車道橋を撤去し、人道橋として架替を実施	
複数橋梁の集約	隣接する複数橋梁を撤去し、機能を集約した橋梁を新設		

【出典：道路橋の集約・撤去事例集 R5.4 国土交通省 道路局】

### 4.3.2 検討フロー

橋の集約・撤去に当たっては、下記フローに基づき検討を行います。

なお事業化に際しては、地域の実情や利用状況の把握を行い、利用者・住民との合意形成を行うことを前提とします。

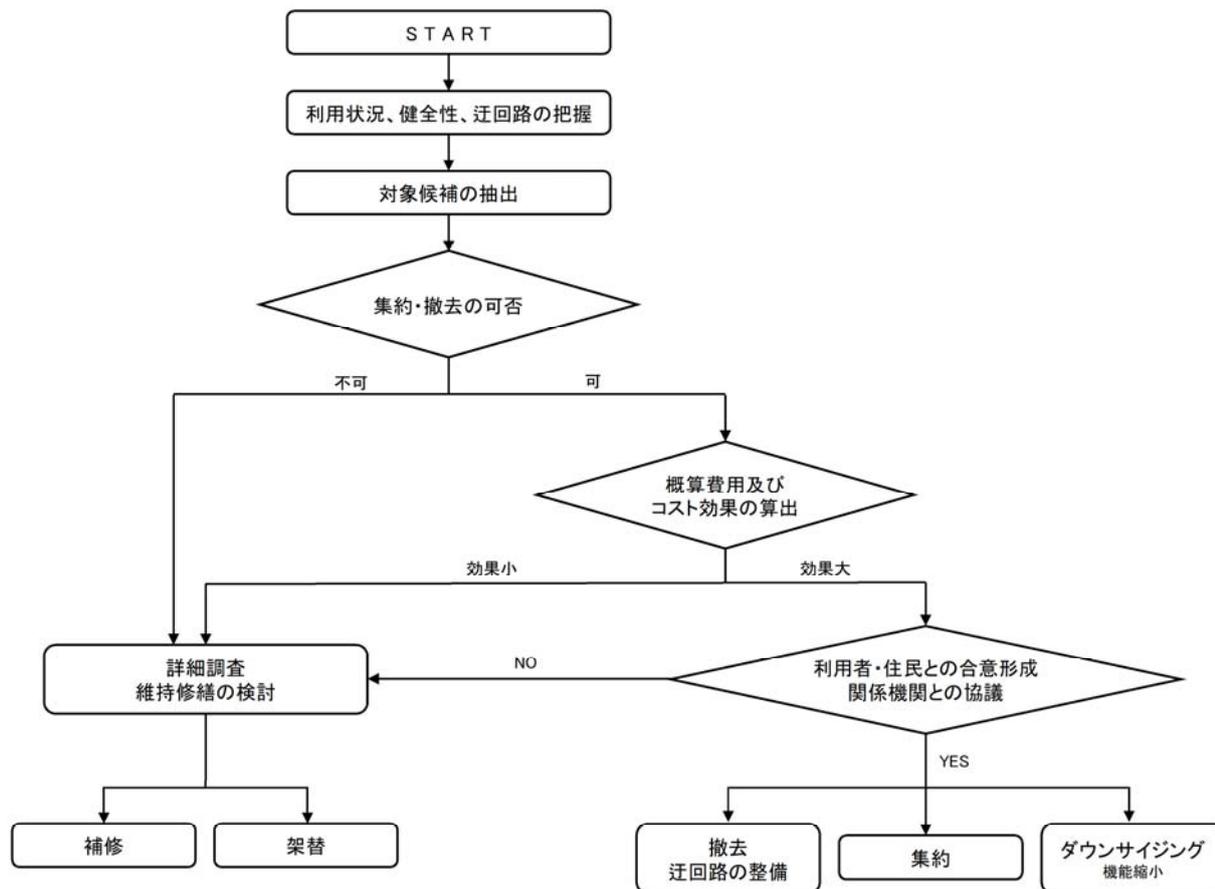


図 4.2 集約化・撤去の検討フロー

### 4.3.3 短期的な数値目標とコスト削減目標

下諏訪町では令和 6 年(2024 年)度から令和 10 年(2028 年)度までの今後 5 年間に於いて、全管理橋梁 85 橋のうち 2 橋について、新設による機能縮小について検討を行います。

具体的には、橋長 2.0m 未満の橋へと架替を行うことで、道路法(昭和 27 年法律第 180 号)第 2 条第 1 項に規定される道路橋の分類より除外することにより、町が行う必要最小限の維持管理へと移行します。

これにより、令和 6 年(2024 年)度から令和 15 年(2033 年)度までの今後 10 年間に於いて、70 万円程度のコスト削減を目標とします。

具体的な検討対象橋梁を以下に示します。

(1) 橋梁 NO.86 内山洪の湯橋

令和 8 年(2026 年)度における撤去及び橋梁規模を縮小化(橋長 2.0m 未満)した架替を目指すものと  
し、検討を行います。



橋長	(m)	3.0
全幅員	(m)	2.8
上部工形式		木床板橋
下部工形式		ふとんかご(2 段積)

(2) 橋梁 NO.93 咽入千草原橋

令和 9 年(2027 年)度における撤去及び橋梁規模を縮小化(橋長 2.0m 未満)した架替を目指すものと  
し、検討を行います。



橋長	(m)	3.2
全幅員	(m)	2.3
上部工形式		木床板橋
下部工形式		現場打ちコンクリート水路

# 下諏訪町 橋梁メンテナンス事業計画一覧

凡例

管理目標区分

橋毎の健全性の診断区分

- ※ 対策内容は計画初年度より直近5年分を示します。
- ※ 本計画は予定であり、予告なく変更の可能性があります。
- ※ 赤字は推測値を表します。

[上段]	対策内容
[下段]	概算工事費(千円)

[a]	予防保全型1
[b]	予防保全型2
[c]	対症療法型
[d]	架け替え型

I	判定(健全)
II	判定(予防保全段階)
III	判定(早期措置段階)
IV	判定(緊急措置段階)

整理番号	橋梁名	路線名	架設年度	橋長(m)	管理目標区分	直近定期 実施年度	の点検 健全性	直近点検 後の措置状況	対策の内容・時期					
									R6 (2024)	R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)	
年度別概算事業費(百万円)									366	539	544	28	30	
82	高木橋	町道(2級)大沢川通り線	1962	18.5	[a]	2020	III	工事中 (R5~)	架替 333,885	架替 487,641	架替 504,248	点検 1,305		
35	上古川橋	町道 駅南通り線	1958	3.8	[b]	2021	IV	工事済 (R4.10)			点検 131			
59	内山洪の湯橋	町道 内山洪の湯線	2002	3.0	[b]	2022	IV	通行止 (R4~)			架替 1,000	点検 158		
79	医王渡橋	町道(1級)宮街道線	1967	22.7	[b]	2021	III		設計 5,691	舗/桁/下 16,024	点検 1,053			
11	承知川本郷橋	町道 本郷2号線	1970	4.6	[b]	2021	III		設計 5,421	舗/下 868	点検 131			
17	承知川汁垂橋	町道 汁垂道線	1990	3.8	[c]	2021	III		設計 5,203	下 1,325	点検 131			
71	鰻沢舟道1号橋	町道 舟道線1号	1968	2.0	[b]	2022	III		設計 3,936	下 1,452	点検 131			
53	福沢山の神橋	町道 福沢山の神線	1986	5.0	[b]	2022	III		設計 5,337	舗/下 3,074	点検 169			
15	向陽橋	町道(2級)富部仲道線	1980	8.6	[b]	2021	III		設計 6,090	舗/下 18,800	点検 1,162			
69	町屋敷橋	町道 町屋敷道幹線	1972	4.0	[c]	2022	III				設計 3,976	下 991		
30	古川四王3号橋	町道(1級)田中線	1928	3.6	[a]	2021	III				設計 4,028	桁/下 3,341	点検 141	

整理 番号	橋梁名	路線名	架設 年度	橋長 (m)	管理 目標 区分	直近の 点検		直近点検 後の 措置状況	対策の内容・時期					
						実施 年度	健全 性		R6 (2024)	R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)	
年度別概算事業費(百万円)									366	539	544	28	30	
72	十四瀬大清水橋	町道 西赤砂9号線	1993	9.7	[b]	2022	Ⅲ					点検 250		
											設計 4,774	舗 1,518		
44	樋橋	町道 樋橋9号線	1933	14.2	[b]	2021	Ⅲ					点検 361		
											設計 5,396	桁 3,524		
60	咽入千草原橋	町道 咽入千草原線	2004	3.2	[c]	2022	Ⅲ						点検 158	
									舗 134					
10	承知川海道橋	町道 (1級)宮街道線	1977	3.7	[b]	2022	Ⅲ						点検 158	
											設計 4,634	舗 1,129		
77	花田橋	町道 花田6号線	1977	4.2	[b]	2022	Ⅲ						点検 169	
											設計 4,863	舗 1,209		
34	古川四王7号橋	町道 西四王3号線	1961	3.1	[b]	2022	Ⅲ						点検 158	
									舗 603					
36	駅前通り橋	町道 駅前通り線	2001	11.1	[a]	2021	Ⅱ					点検 385		
												設計 4,243	舗 2,413	
80	清水橋	町道 (1級)田中線	1981	24.4	[a]	2021	Ⅱ					点検 1,752		
												設計 6,624	舗/桁 27,781	
85	佛供田橋	町道 渋の湯灰焼線	1994	35.0	[b]	2022	Ⅱ						点検 1,862	
29	古川四王2号橋	町道 渡り上り四王1号線	1940	3.7	[c]	2021	Ⅱ					点検 131		
63	東俣川1号橋	町道 堀道線1号	1970	10.0	[c]	2022	Ⅱ						点検 312	
64	東俣川2号橋	町道 堀道線	1999	11.0	[b]	2022	Ⅱ						点検 378	
83	注連掛橋	町道 (2級)星が丘注連掛線	1971	27.6	[b]	2021	Ⅱ					点検 1,550		
43	やまびこ橋	町道 第8保育園線	1978	7.5	[b]	2022	Ⅱ						点検 239	
28	古川四王1号橋	町道 いかり2号線	1972	3.8	[b]	2021	Ⅱ					点検 141		
76	古川広瀬橋	町道 鷹野町広瀬通り線	1937	3.4	[b]	2021	Ⅱ					点検 141		
78	承知川湖岸橋	町道 (1級)湖岸通り線	2001	20.3	[b]	2022	Ⅱ						点検 976	

整理 番号	橋梁名	路線名	架設 年度	橋長 (m)	管理 目標 区分	直近の点検		直近点検 後の 措置状況	対策の内容・時期				
						定期 実施 年度	健全 性		R6 (2024)	R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)
年度別概算事業費(百万円)									366	539	544	28	30
81	湖岸承知川橋	町道 (1級)湖岸通り線	1990	20.2	[b]	2021	II			点検 658			
68	東俣川6号橋	町道 大平線	1985	9.0	[b]	2022	II				点検 239		
24	古川湖岸橋	町道 (1級)湖岸通り線	1990	7.0	[b]	2021	II			点検 245			
49	福沢橋	町道 (1級)東山田西山田線	1935	4.6	[b]	2021	II			点検 141			
4	承知川西浜1号橋	町道 富部新道線6号	2021	12.3	[c]	2022	II				点検 378		
75	しみず橋	町道 赤砂通り線	1989	8.7	[b]	2021	II			点検 208			
61	十四瀬赤砂橋	町道 西赤砂2号線	1986	9.2	[b]	2022	II				点検 250		
51	福沢東横2号橋	町道 福沢東横2号線	2001	4.0	[b]	2022	II				点検 158		
31	古川四王4号橋	町道 渡り上り四王3号線	1943	4.0	[c]	2022	II			点検 131			
38	小久保沢橋	町道 小久保沢5号線	2007	3.0	[c]	2022	II				点検 158		
41	浮島1号橋	町道 石仏道線	1988	2.0	[c]	2022	II				点検 158		
47	福沢神明橋	町道 神明線	1973	3.5	[b]	2021	II			点検 131			
48	福沢花田橋	町道 久保田花田線	1982	3.2	[b]	2022	II				点検 158		
8	承知川橋	町道 富部新道線	2012	12.1	[b]	2021	II			点検 455			
70	西餅屋橋	町道 和田峠3号線	1962	5.4	[b]	2022	II				点検 239		
56	福沢渋の湯6号橋	町道 福沢渋の湯線	1983	4.3	[b]	2022	II				点検 158		
67	東俣川5号橋	町道 大平線	1983	2.8	[b]	2022	II				点検 158		
20	大鹿1号橋	町道 大鹿道線	1980	2.0	[b]	2021	II			点検 131			
84	鷹の橋	町道 赤砂通り線	2009	27.2	[b]	2022	II			点検 1,340			
46	福沢久保田橋	町道 鋳物師沢久保田線	1951	3.5	[c]	2021	II			点検 131			
65	東俣川3号橋	町道 下道支線	2005	12.0	[b]	2022	II				点検 378		
45	福沢砥川西橋	町道 砥川西線	1963	5.0	[b]	2021	II			点検 141			
62	十四瀬花田橋	町道 久保田花田線	1955	4.0	[b]	2022	II				点検 169		
25	古川一ツ浜1号橋	町道 一ツ浜1号線	1972	4.0	[b]	2021	II			点検 141			
26	古川一ツ浜2号橋	町道 一ツ浜4号線	1972	4.0	[b]	2021	II			点検 141			

整理 番号	橋梁名	路線名	架設 年度	橋長 (m)	管理 目標 区分	直近の 点検		直近点検 後の 措置状況	対策の内容・時期				
						実 施 年 度	健 全 性		R6 (2024)	R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)
年度別概算事業費(百万円)									366	539	544	28	30
58	福沢洪の湯3号橋	町道 福沢洪の湯線	1989	4.5	[b]	2022	II				点検 158		
57	福沢洪の湯7号橋	町道 福沢洪の湯線	1983	4.0	[b]	2022	II				点検 158		
3	大沢3号橋	町道 彦祖街道線	2002	2.8	[c]	2021	II			点検 131			
7	承知川西豊2号橋	町道 西豊1号線	2009	9.6	[c]	2021	II			点検 189			
13	武居橋	町道 武居8号線	1985	6.3	[b]	2021	II			点検 199			
5	承知川西浜2号橋	町道 富部新道線7号	2021	10.6	[c]	2022	II				点検 349		
73	十四瀬西赤砂1号橋	町道 西赤砂5号線	1993	9.5	[c]	2022	II				点検 227		
6	承知川西豊1号橋	町道 (1級)田中線	2015	4.5	[a]	2021	II			点検 169			
27	古川一ツ浜3号橋	町道 一ツ浜8号線	1972	4.0	[b]	2021	II			点検 141			
50	福沢中間橋	町道 福沢中間線	1974	4.0	[b]	2021	II			点検 131			
32	古川四王5号橋	町道 西四王1号線	1961	3.6	[b]	2021	II			点検 131			
22	鰻沢湖岸橋	町道 (1級)湖岸通り線	1990	2.3	[b]	2021	II			点検 150			
74	十四瀬西赤砂2号橋	町道 西赤砂7号線	1993	9.5	[b]	2022	II				点検 239		
33	古川四王6号橋	町道 西四王2号線	1985	3.6	[c]	2022	II				点検 158		
39	新川鷹野町橋	町道 西鷹野町2号線	1976	2.2	[b]	2022	II				点検 158		
52	福沢鋳物師沢橋	町道 福沢鋳物師沢線	1971	4.1	[c]	2022	II				点検 169		
2	大沢2号橋	町道 (2級)大沢川通り線	1975	2.1	[c]	2021	II			点検 131			
1	湖岸諏訪境橋	町道 (1級)湖岸通り線	1975	3.5	[c]	2021	II			点検 150			
23	宮脇橋	町道 (1級)宮街道線	1990	2.4	[d]	2021	II			点検 131			
19	尾掛1号橋	町道 尾掛道線	1988	4.5	[c]	2021	II			点検 131			
16	承知川飼付橋	町道 飼付道線	1976	6.6	[c]	2021	II			点検 189			
14	承知川追分橋	町道 高校下道線	1978	6.4	[b]	2022	II				点検 227		
54	福沢洪の湯4号橋	町道 福沢洪の湯線	1935	6.0	[c]	2022	II				点検 227		
42	浮島2号橋	町道 石仏道線	1988	3.5	[c]	2022	I				点検 158		
66	東俣川4号橋	町道 所沢ツルモク線	2010	10.7	[b]	2022	I				点検 378		

整理 番号	橋梁名	路線名	架設 年度	橋長 (m)	管理 目標 区分	直近の 定期 点検		直近点検 後の 措置状況	対策の内容・時期				
						実施 年度	健全 性		R6 (2024)	R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)
年度別概算事業費(百万円)									366	539	544	28	30
55	福沢渋の湯5号橋	町道 福沢渋の湯線	2012	3.6	[b]	2021	I			点検 131			
37	湯沢橋	町道 湯沢1号線	1970	2.2	[c]	2022	I				点検 158		
21	大鹿2号橋	町道 大鹿道線	1980	2.0	[b]	2021	I			点検 131			
12	承知川武居1号橋	町道 武居2号線	1999	5.0	[c]	2021	I			点検 131			
9	承知川東豊橋	町道 東豊4号線	2007	4.3	[c]	2022	I				点検 158		
40	渋田橋	町道 運動場南線	1957	2.0	[b]	2021	I			点検 131			
18	土板橋	町道 土坂道線	1976	3.3	[c]	2021	I			点検 131			

<凡 例>

点検	5年に1回実施する法定定期点検	
設計	架替や補修の設計	
架替	架替工事	
撤去	撤去工事	
補 修 工 事	舗	橋面工（舗装・伸縮装置・高欄・地覆・排水装置）の補修工事
	桁	橋体工（主桁・横桁・床版・支承）の補修工事
	下	下部工（橋台・橋脚）の補修工事
	舗/桁/下	橋面工、橋体工、下部工の補修工事
	舗/桁	橋面工、橋体工の補修工事
	舗/下	橋面工、下部工の補修工事
	桁/下	橋体工、下部工の補修工事